

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ) リッキョウダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) セキ トモカズ
立教大学	経済学部	關 智一 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ) アルピー	フリガナ) ワタナベ ツヨシ	6	無
RB	渡邊 毅		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

法被、帽子、腕章、パンフレット

研究テーマ（発表タイトル）

S NAVI WALKER ～誰もが快適な駅を目指して～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

近年、日本では外国人観光客が増加しており、街中でも多くの外国人観光客を見かけるようになった。私たちはそんな外国人観光客に目を向け、ストレスなく旅行を楽しみ、日本の魅力をより感じてもらえるような取り組みを行いたいと考えた。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、日本で観光業は重要な成長産業である。そこで観光庁は外国人観光客への対策を強化するために「すべての旅行者がストレスなく快適に観光をできる環境に」という目標を掲げており、観光庁もストレスを解消することの必要性を感じている。観光庁の調査によると「外国人観光客が日本を旅行中に困ったこと」として**公共交通機関**が最も多かった。また、公共交通機関は鉄道が最も利用されており、私たちが外国人観光客を対象に行った独自アンケートの結果によると、鉄道を利用する際、**乗り換えに1番困っている**ことが分かった。以上から、鉄道の乗り換え案内を強化することが外国人観光客のストレスを取り除くために有効である。

現在、乗り換えに困った際の外国人観光客の主な対応策としてアプリの使用と駅員に聞くことが挙げられる。1つ目のアプリでは次に乗る線を示すものや、駅構内図を示してくれるアプリが存在する。しかし、これらのアプリは分かりづらさや、高齢者は使いにくいということなどから、乗り換え時の案内として不十分な点が多くある。2つ目の駅員に聞くことに関しては、東京メトロ様のお話によると、駅員の英語対応は発展段階であり、それを補うために iPad や電話翻訳サービスが使われている。しかし、これらは窓口には設置されていないため、その場での対応が限界であり、満足な案内であるとは言えない。また、駅で外国人の乗り換えをサポートするボランティア団体としてハート

フル・ジャパンという団体がある。この団体は、浅草駅を拠点として対人で多言語による案内などを行っているが、ボランティア団体であるため、週2回の活動が限界であり、継続性に課題がある。

3. 研究テーマの課題

上記でも述べた通り、既存の鉄道の乗り換え案内であるアプリ、駅員の対応、iPad・電話翻訳サービスから、十分な鉄道の乗り換え案内を行うためには、①対人②多言語対応③目的地まで寄り添う案内④継続の4つの要素を全て満たした対策が必要である。現在これらの要素全てを満たした対策はないため、これらの要素全てを満たした案内方法を実現することを目指す。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

上記の鉄道の乗り換え案内に必要な要素全てを満たした理想的な乗り換え案内のシステムとして、提案するのが『S NAVI WALKER』である。

【概要】外国人観光客をメインターゲットとして、駅構内に待機し、困っている外国人観光客を直接案内する。

【特徴】

① ペアでの行動

→外国人留学生と留学生とコミュニケーションが可能な日本人がペアで行動することで、日本人が駅員と留学生のコミュニケーションを補佐する役割を担い、留学生の起用によって**多言語（3カ国語以上）対応**が可能になる。

② 寄り添う案内

→駅構内を自由に歩き回ること、困っている外国人観光客が気軽に尋ねることができ、複雑な乗り換えでも、**目的地まで同行**することができるため、よりスムーズで確実な乗り換え案内が可能になる。

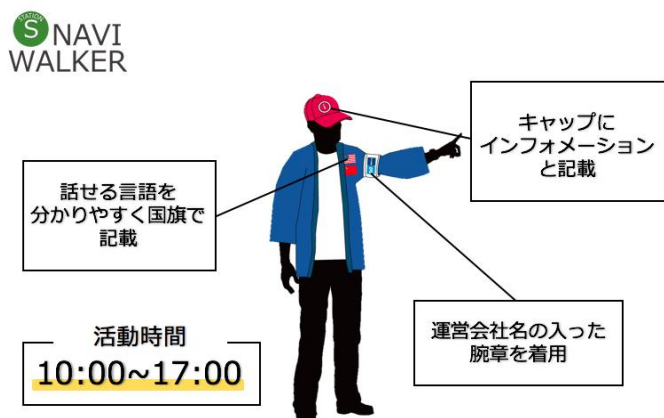
③ 広告の掲載

→図1のような装いで活動し、背面に広告を掲載し、案内が終わった際、広告の入った駅周辺のパンフレットを配布する。案内と同時に広告としての役割も果たすことで広告料を集め、それを元にS NAVI WALKERをアルバイトとして起用することによって**継続的な起用**が可能になる。

以上から、私たちの提案であるS NAVI WALKERは鉄道の乗り換え案内に必要な要素を全て満たしており、外国人観光客の乗り換えに対するストレスを解消することができる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

【図1】



【図2】

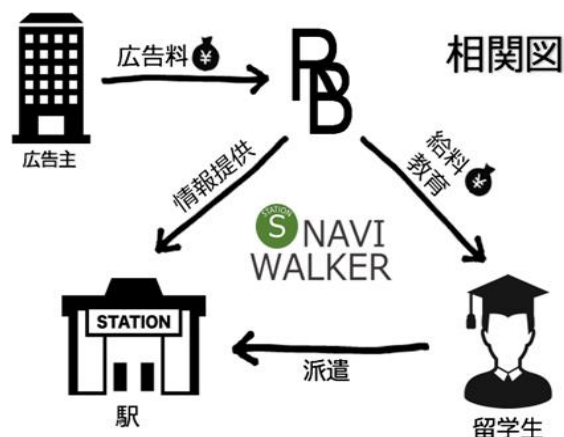


図2のような相関関係でS NAVI WALKERを運営し、私たちRBは派遣会社として機能して活動する。

RB×駅

RBは東京メトロ様監修で駅の案内に関するマニュアルを作成し、研修センターで実地研修を行い、留学生を教育する。S NAVI WALKERは、日本人とのペア行動により、留学生の日本語力を必要としていないため、日本語能力の乏しい留学生（日本語能力N5以上から）の雇用を創出することができる。

RB×留学生

駅に対して私たちはS NAVI WALKERで得た外国人観光客の多い時間帯や、よく聞かれる質問に関して集計し、駅に情報を提供する。この情報が今後の訪日外国人対策の改善と向上につながる。

RB×広告主

企業から広告料を募り、広告システムを運営していく。S NAVI WALKERは、困っている外国人観光客を助ける・留学生の雇用創出といった面から、社会貢献につながるため、企業は広告効果に加えイメージアップというメリットがある。

留学生の募集に関しては、紹介会社である株式会社インディバル様より人材紹介の協力を得ることになっており、留学生・日本人を対象に「実際にこのようなアルバイトがあったらやりたいか」という、アンケートを行ったところ、留学生は226の人が、日本人は134の人がやりたいと回答したため、人材募集が可能であると考えられる。また東京メトロ様から実証実験に向けて社内で検討するとの声をいただいております、実現可能性の高い活動である。さらに、S NAVI WALKERがあれば是非利用したいという外国人観光客の声は96%にもものぼっており、実際に乗り換え案内として有効であることが見込まれる。

6. 結果や今後の取り組み

今後の取り組みとして、2018年に現在賛同をいただいている東京メトロ様の許可のみで自由に動くことができ、乗り換えが複雑な銀座駅での検証実験を行う。2019年に東京メトロにて他の駅に展開していく。そして、多くの外国人が訪れることが予想される2020年のオリンピック開催と同時に他線へと展開し、継続的に本格始動する。さらに規模を広げ、東京だけでなく全国の主要観光都市にも展開していく。

7. 参考文献

観光庁 外国人旅行者に対するアンケート調査結果について <https://www.mlit.go.jp/common/000190659.pdf>
(閲覧日:2017年5月6日)

観光庁 日経ビジネスオンライン「日本を観光立国にする3つの課題」

https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/index.html (閲覧日:2017年5月25日)

『新観光立国論』東洋経済、デービット・アトキンソン著(2015)

『世界一訪れたい日本の作り方』東洋経済、デービット・アトキンソン著(2016)

日本語能力試験 JLPT <http://www.jlpt.jp/index.html> (閲覧日:2017年5月30日)

国土交通省 交通関連統計資料数 <http://www.mlit.go.jp/statistics/kotsusiryu.html> (閲覧日:2017年6月3日)

電通 日本の広告費 ナレッジ&データ http://www.dentsu.co.jp/knowledge/ad_cost/

(閲覧日:2017年6月12日)

ハートフル・ジャパン <http://www.heartfuljp.com/> (閲覧日:2017年6月12日)

PANASONIC 多言語音声翻訳サービス「メガホンヤク」 <https://panasonic.biz/cns/invc/megahonyaku/>

(閲覧日:2017年6月18日)

国土交通省「観光をめぐる課題と現状について」 http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kanko_vision/dai1/siryou7-1.pdf#search=%27%E6%97%A5%E6%9C%AC+%E8%A6%B3%E5%85%89%E6%A5%AD+%E7%8F%BE%E7%8A%B6%27 (閲覧日:2017年6月20日)

観光庁「訪日外国人旅行者数に関する配布資料」 http://www.mlit.go.jp/kankocho/page01_000542.html

(閲覧日:2017年6月20日)

『観光立国へのアプローチ』成山堂書店、山下徹 著(2010)

『日本の観光 きのう・きょう・あす』交通新聞社、須田寛 著(2017)

増える訪日観光客「観光大国」日本を目指すためにできること

http://www.mlit.go.jp/kankocho/page01_000542.html (閲覧日:2017年6月20日)

小田急電鉄 インバウンド対策への取り組み <http://the-liberty.com/article.php?itemid=13307>

(閲覧日:2017年6月21日)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください